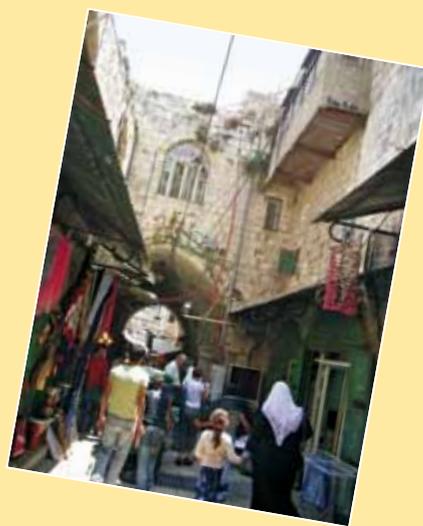
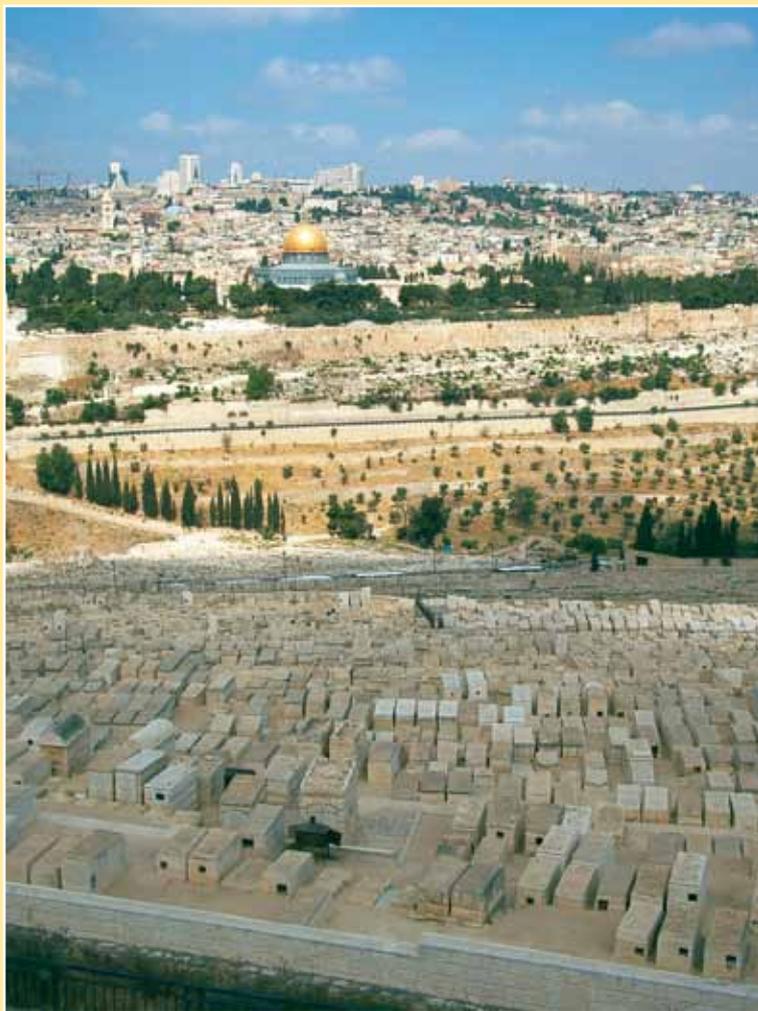


Architect's Gallery

わたしのフォトメモ——街並み編 | 高橋晶子 | Akiko Takahashi



積層する砂の記憶

4,000年以上前から続く歴史都市。

有名な「嘆きの壁」を訪れて旧市街に入った途端に迷路が連なり、地図は役に立たない。

洞窟状のアーケードがうねうね続き、その切れ間から強い日光にさらされた場所が次々と出現する。

城壁も建築物も墓も、そして大地そのものも、すべてが砂岩から出来ている。

上エジプト・ヌビア地方の砂がナイル川から海に流れ込み、長い時間を経て砂岩になったという。

砂漠色の風景の中で、異なる宗教・人種の人々が隣接し、生き生きとした生活が現在も繰り返されている。

撮影地：イスラエル・エルサレム | 撮影：2008年

たかはしあきこ——建築家/1980年、京都大学卒業。1986年、東京工業大学博士課程中退。1986-88年、篠原一男アトリエ勤務。1988年、共同主宰者・高橋寛とワークステーション設立、現在に至る。2004年、武蔵野美術大学造形学部建築学科教授。
主な作品：高知県立坂本龍馬記念館[1991]、岐阜県営住宅ハイタウン北方高橋棟[2000]、野毛山動物園ふれあいコーナー[2002]、アパートメント東雲キャナルコート(組織設計ADHと共同)[2005]、地域資源活用総合交流促進施設[2009]など。